

G★U★M★B★O

幻の箱根駅伝(記者:藤田泰)

早くも桜の開花を待ち望む時期になりました。さて、今回は正月の風物詩として、すっかり定着している、東京箱根間往復駅伝競走(箱根駅伝)について、興味深い話を紹介します。

この箱根駅伝の第1回は、1920年(大正9年)2月24日、25日に4校が参加して行われ、東京高等師範学校が優勝しています。開催当初は、長距離ランナーが極度に不足していたため、各校は人力車夫を特待生(学費免除)で入学させて、駅伝に出場した、という逸話もあります。その後は、関東大震災や昭和大恐慌等の時期にも開催されました。戦後は、1947年の第23回から再開しています。その前は、戦時中の1943年(昭和18年)に実施されましたが、この大会が第22回として正式に認められたのは、1960年です。それまでは、「幻の箱根駅伝」と呼ばれ、関係者のみが知っている存在でした。

実は、1941年の箱根駅伝は中止されています。中国戦線拡大や東京オリンピック中止の影響ですが、実際の要因は、軍需品や物資運送の大動脈である国道1号線の使用許可が、軍部から下りなかったことによります。しかし、是が非でも駅伝を復活させたい関東学生陸上競技連盟(関東学連)は、「箱根・国道1号線」の代案として、明治神宮をスタート、青梅の熊野神社を折り返し、明治神宮をゴール、とする「東京-青梅間第一回関東学生鍛錬競走大会」を、大変な努力の末に1941年の正月に開催して、日大が優勝しました。一時期は、この「青梅駅伝」が第22回箱根駅伝とされていました。この年の12月には、第2回青梅駅伝が開催されましたが、その後は、国家・社会の非常時体制を背景として、中止されました。

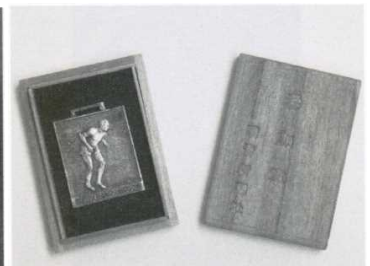
そのような中、戦況の悪化により、学生の徴兵免除が停止されました。その時に、「最後に箱根を、もう一度走ってから死にたい」という学生たちの熱い思いが、大変な苦勞を乗り越えて、1943年の箱根駅伝を実現させました。ただし、軍部や所轄行政との折衝段階で、「基礎体力の向上」と「戦技(軍事教練)における有効性」を押し出しました。また、コースを「靖国神社・箱根神社の往復」に変更、「大会前に先勝祈願の参拝を実施」して「戦意高揚に資する」ことを目的として、「紀元二千六百三年 靖国神社・箱根神社間往復 関東学徒鍛錬継走大会」は限開催にこぎつけ、日大が優勝しました。中には、召集令状を携えて走り、ゴール後はそのまま入営した、という選手の逸話も残されています。

さて、この1943年の大会は、主催者を大日本学徒体育振興会とする誤認や、目的・趣旨が戦時迎合の印象を与える等の理由により、ながらく非公式大会扱いをされました。しかし、主催者が関東学連であったことの判明や、関係者の尽力もあり、1960年(昭和35年)に第22回箱根駅伝として、正式に認定されました。つまり、幻の大会が幻ではなくなった訳です。一方、1941年の青梅駅伝を非公式化したので、今度はこちらが幻の箱根駅伝になりました。幻の大会の認定という大問題に決着をつけ、かつ、開催回数に変更なし、という絶妙な采配は大いに感心します。 優勝盾と参加章も質素な木製

今回は、学生が勉学と運動に打ち込むことができ、すべての国民が平和に生活する社会の重要性を考えました。ちなみに、今年の第93回は、青山学院大学が堂々の連覇を達成しています。過去においては弱小校であった青山に比べて、総合優勝回数歴代3位を誇る我が母校は、なんと「シード落ち」という結果に終わりました。こちらも、いつか復活してほしいものです。



優勝盾



昭和18年大会の参加章

ジョジョ(記者:桑原)

今回は、私のはまっている「ジョジョ」について書きたいと思
います。ジョジョとは[ジョジョの奇妙な冒険]の略称です。
1987年から2004年まで週刊少年ジャンプで連載し、2005年
からウルトラジャンプに移り現在も連載中の人気マンガです。
シリーズの単行本は100巻を超え、累計発行部数1億を超え
ています。現在では1部から4部までアニメ化もされています。
絵のタッチがかなり独特で芸術的です。パリのルーブル美術
館にも飾られたことがあります。



またジョジョといえば擬音が有名です「ドドドド」「ゴゴゴゴ」などの臨場感が感じられる擬音から「ズキュウウン」「メメタア」などの意味のわからない擬音もふんだんに使われています。

↓ジョジョの歴史↓

	副題	主人公	連載開始	単行本
Part1	ファントムブラッド	ジョナサン・ジョースター	1987年	1巻～5巻
Part2	戦闘潮流	ジョセフ・ジョースター	1987年	5巻～12巻
Part3	スターダストクルセーダース	空条承太郎	1989年	12巻～28巻
Part4	ダイヤモンドは砕けない	東方丈助	1992年	29巻～47巻
Part5	黄金の風	ジオルノ・ジョバーナ	1995年	47巻～63巻
Part6	ストーンオーシャン	空条徐倫	2000年	64巻～80巻
Part7	スティール・ボール・ラン	ジョニー・ジョースター	2004年	81巻～104巻
Part8	ジョジョリオン	東方定助	2011年	105巻～連載中

個人的には5部と7部が好きです。皆さんもぜひ読んでみてください。

個々のあらすじはスペースの関係上次回にさせていただきます。m(_ _)m



気になったこと(記者:杉浦)

日に日に暖かさが増し、春を感じる今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか？花粉症は大丈夫ですか？幸いにも花粉症に罹っていない編集長です。

宇宙について、発見が続いています。今年2月に、地球に近い大きさの太陽系外惑星(他の太陽を公転する惑星)を40光年の距離に7つ発見したと発表されました。その内の3惑星は液体の水が存在する可能性があり、生物の存在に必要な環境が存在する可能性もあるとのこと。

また、3月にも発見がありました。地球から4光年の距離にハビタブル惑星(ハビタブルゾーン:宇宙にて生命が誕生するのに適した環境の範囲、ハビタブル惑星:地表があり、水が液体で存在可能な惑星)の可能性があり、プロキシマbが発見されました。近いとはいえ4光年もの距離がありますが、観測の為の計画が進んでいる様です。到達するのに20年ぐらにかかるとはありますが...

未知の発見は、心躍る思いがありますよね。さらなる発見に期待です。それでは皆様ごきげんよ～～ノシ

